

土壌調査（ボーリング）の結果について

1. 業務の概要と目的

青谷地内の事業所内の井戸において、地下水から環境基準（0.0005mg/L）を上回る水銀が検出されたことから、公社では、行政及び土壌・地下水の保全に係る審議会の助言を得て、ボーリングによる土壌採取を行い、採取した試料の総水銀・アルキル水銀の項目について土壌分析検査（溶出試験）を行った。

2. 調査地点の選定理由

- ・ 調査地点は事業所敷地内に限定した。
- ・ 水銀は地山ではなく、外部から人為的に運ばれてきた土壌の中に存在する可能性が高いと考え、埋立て土がある程度の厚さで敷設された場所を調査対象の範囲とした。
- ・ 事業所の業務の妨げとならない場所でおかつ、土質サンプリング作業が滞りなく行われる地点を選んだ。

3. 業務内容

掘削口径	66mm
深 度	36.5m
位 置	（別図のとおり）

4. 分析結果

- ・図3. 1 C事業所敷地内・盛土のボーリング柱状図
- ・表3. 1 C事業所敷地内・盛土の土壌分析結果

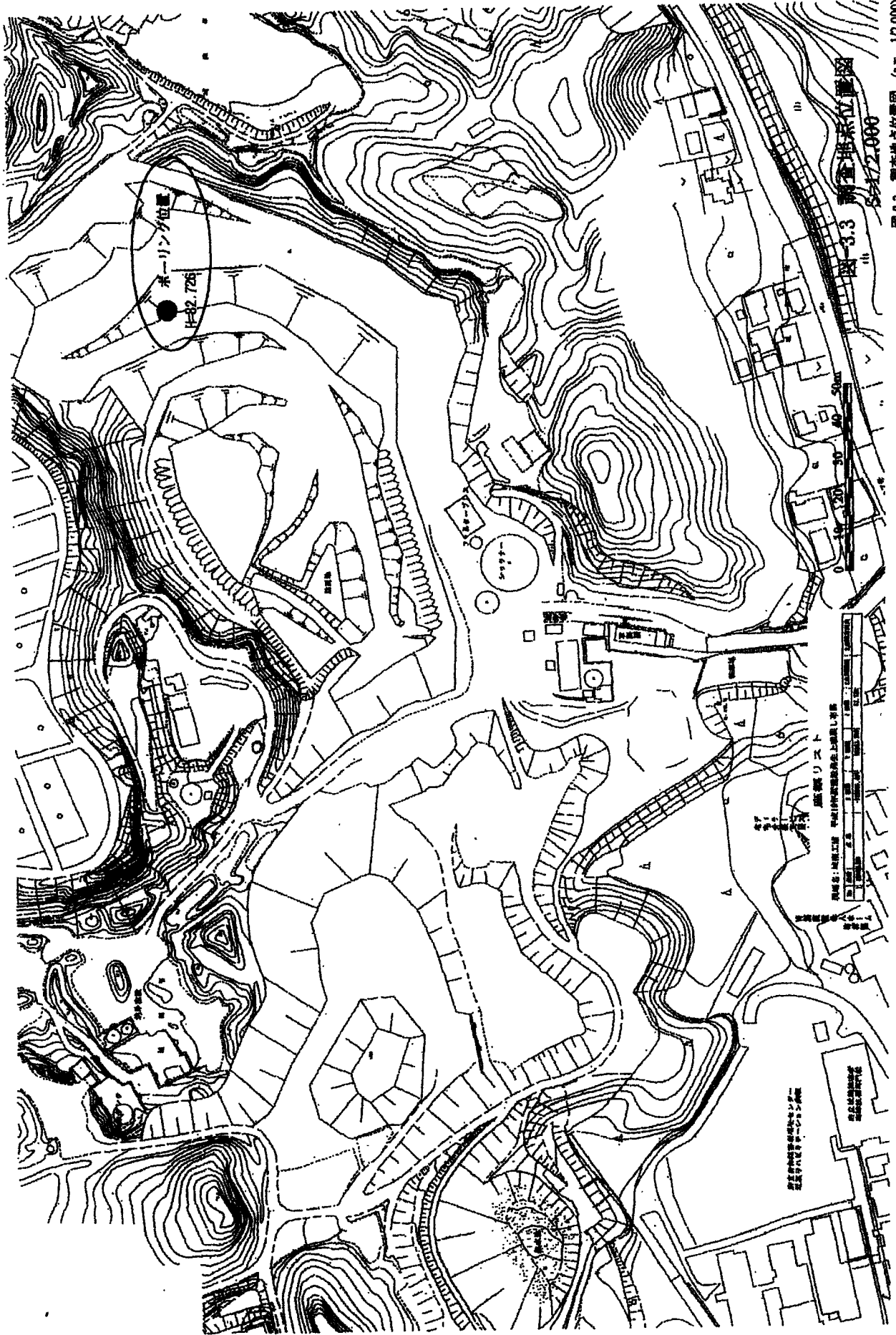


表-3.1 : C事業所敷地内・盛土の水質分析結果

出展：土壤分析検査業務等委託（土壤ボーリング）、平成19年3月、財団法人城陽山砂利採取地整備公社

計 量 証 明 書

第 19032168-1 号

平成 19 年 03 月 20 日

財団法人 城陽山砂利採取地整備公社 殿

業務名：土壤分析検査業務等委託
採取場所：城陽市中芦原地内
採取日：平成19年03月02日～09日
採取者：応用地質株式会社

濃度計測計器事業登録大阪府第10115号
建築物飲料水水質検査業務登録大阪府17水第8-6号
大阪府大東市三箇 1-10番18号 TEL 072(874)1783
エスク三田株式会社 環境測定センター
環境計量士

採取深度	試料名（土壤） 溶出試験		測定方法
	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	
GL-0.00～-1.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	(検液の作成方法) 環境庁告示第46号付表 (測定方法) 総水銀 環境庁告示第59号付表1 アルキル水銀 環境庁告示第59号付表2
GL-1.00～-2.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-2.00～-3.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-3.00～-4.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-4.00～-5.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-5.00～-6.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-6.00～-7.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-7.00～-8.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-8.00～-9.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-9.00～-10.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-10.00～-11.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-11.00～-12.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-12.00～-13.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-13.00～-14.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-14.00～-15.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-15.00～-16.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-16.00～-17.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-17.00～-18.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-18.00～-19.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-19.00～-20.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	

ND：検出せず

表-3.2：C事業所敷地内・盛土の水質分析結果

出展：土壌分析検査業務等委託（土壌ボーリング）、平成19年3月、財団法人城陽山砂利採取地整備公社

計 量 証 明 書

第 19032168-2 号

平成 19 年 03 月 20 日

財団法人 城陽山砂利採取地整備公社 殿

業務名：土壌分析検査業務等委託
 採取場所：城陽市中芦原地内
 採取日：平成19年03月02日～09日
 採取者：応用地質株式会社

濃度計 備前市事業登録大阪府第10115号
 建築物飲料水 備前市事業登録大阪府17水第8-6号
 大阪府大東市三箇4丁目1番18号 TEL 072(874)1783
 エスク三 五井株式会社 環境測定センター
 環境計量士

採取深度	試料名（土壌） 溶出試験		測定方法
	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	
GL-20.00～21.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	(検液の作成方法) 環境庁告示第46号付表 (測定方法) 総水銀 環境庁告示第59号付表1 アルキル水銀 環境庁告示第59号付表2
GL-21.00～22.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-22.00～23.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-23.00～24.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-24.00～25.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-25.00～26.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-26.00～27.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-27.00～28.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-28.00～29.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-29.00～30.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-30.00～31.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-31.00～32.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-32.00～33.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-33.00～34.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-34.00～35.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-35.00～36.00m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
GL-36.00～36.50m	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)	
	以下余白		

ND：検出せず